鎌倉朝日新聞社
広告をお待ちしています
地域の活性化のためにも
TEL 0467(24)8553
FAX 0467(23)1205

お掃除サービス・家事お手伝いサービスなら
ダスキンメリーメイド鎌倉店
☆エアコンクリーニングなどのプロのおそうじ
ダスキンオークラサービスマスター
0120-3-82820
●ダスキンオークラトータルグリーン(造園と庭木の管理)も好評受付中です!!
ダスキンオークラ 検索
www.duskin-city.com

鎌倉大町歯科
KAMAKURA OMACHI DENTAL
歯科・矯正歯科
(各種保険取扱／初診　急患随時受付)
鎌倉市大町4−1−7
(木曜、日曜、祝日休診)
☎0467-81-4488
http://www.kamakura.dental/index.html

市民が環境問題の意見交換

ずし環境フェスティバル

さまざまな角度から環境問題に取り組む市内の団体が展示発表やワークショップなどを行う「ずし環境フェスティバル」が6月13日に市民交流センターと逗子文化プラザで催された=写真。

20回目の今年のテーマは「子どもたちのために！地球のために！」。午後からはメインの催しとなる「環境を考える集い」で各団体からの発表と意見交換が行われた。

市民と事業者が構成する「ずしし環境会議」の「まちなみと緑の創造部会」から、コロナ禍でもできる身近な植物観察の楽しみ方を樹木医でもある大塚隆之部会長がわかりやすく解説。「逗子プラごみゼロ活動を進める会」は、市内の約170の商店に実施したレジ袋の使用削減についての調査結果を報告し、レジ袋の辞退率は有料化前の約20%から76%へ上がっていることなどが示された。

環境問題に取り組む同級生3人の中学生チームは海岸のプラごみをホタテ成分の洗剤で洗浄し、キーホルダーを作る活動や天然ゴム製の消しゴムの販売を通して毎日使う消しゴムにも有害なプラスチック成分が含まれていることを啓発するなどの活動が評価を集めた。

実行委員の粟飯原留里子さん(85)は、1999年から継続してきた同フェスティバルを振り返り次世代の子どもたちの意識の高まりに希望を見い出していた。(K)

災害時も自ら考え動く子に
小学生が防災デイキャンプ

逗葉地区と横浜市金沢区の災害ボランティア有志が一昨年から小学生の防災意識の育成を目的に始めた「てんでんこプロジェクト」が、6月13日玉蔵院(葉山町一色)で「KIDS防災デイキャンプ」を行った=写真。

児童ら33人は境内を避難所に想定し、地面に穴を掘り足置き台のブロックを設置する屋外トイレづくりや、テントの設営、耐熱性のあるポリ袋での湯せん調理や町防災安全課から提供されたアルファ米の使い方、バケツリレーやクイズなどで災害時に役立つ知識を楽しみながら学んだ。金沢区から親子4人で参加した家族は「昨年の体験が子どもたちには大きな収穫だったようだ」と話す。

今年5月には一昨年の台風15号で甚大な被害を受けた金沢区福浦・幸浦沿岸の被災地を訪れ、高波で屋内プールの窓が大破した「リネツ金沢」で当時の状況を聞く「防災遠足」を行った。

小学生への防災教育の意義について同プロジェクトの服部誠さん(44)は「ここで学んだ子が今はスタッフとなり、親も加わってくれるようになった。子どもが動くと親や学校や社会が動き始める」と小学生への防災教育が確実に将来の地域防災につながることを強調していた。(K)

スケッチ日和 ㊺

材木座海岸で、男性が女性インストラクターからウィンドサーフィンの指導を受けているところに通りかかった。

男性はブームを握って仁王立ちだ。下半身はしっかりしている。年のころは50代か。白髪頭だから60代、いやいや腕のしわを見ると70代かもしれない。

とにかく挑戦するのに年齢は関係ないなぁと感心させられた。もうすぐ日没だ。特訓は続く。「日が暮れる前に帰ってくるのよ」5分で忘れた母の注意を思い出した。

水彩画31×41㎝

「挑戦」　黒川 明

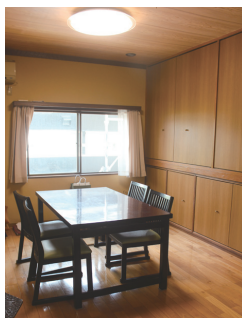
展示や集会に場所を提供
鎌倉の手打ちそば「宮前」

鎌倉市二階堂の大塔宮前の手打ちそば「宮前」で、半年ほど前から鎌倉の寺社や海などの四季折々の風景写真10数点が壁に並び、話題を呼んでいる。

この店は15年ほど前に元市会議員の古屋壽廣さん(78)が横須賀の老舗蕎麦店の職人から手ほどきを受けてはじめた店で、5年前に息子に引き継いでいる。店の壁に、古屋さんが趣味にしていて所属しているアマチュア写真クラブ「鎌倉フォトクラブ・ベアーズ」の写真を展示したところ、写真で鎌倉の知られざる景色などを目にでき、客から喜ばれているという。写真を通して客とのコミュニケーションがとれるようになったことも収穫だったという。

コロナ禍で展示会の機会も少なくなったことを聞き、古屋さんは、希望者に展示スペースを提供していくという。

展示スペースを提供する古屋さん



2階のフリースペース

また、地域のコミュニティの拠点として役立てればと、8月頃から店の2階の10畳ほどの広さの2間をフリースペースとして貸し出すことを考えている。料金は応相談。

問い合わせは古屋さん☎090・3407・3700

車を売ろうかな」と検討中の方へ
地域密着・安心の車買取店

「車を手放したいけど、面倒」「安心して車を売りたい」そんな人にお勧めしたいのが、鎌倉・逗子周辺で実績多数の車買取専門店「ハッピーカーズ鎌倉店」。一度、相談してみてはいかがだろうか。

「最近は、運転卒業を考えている方からのご相談やお問い合わせを多くいただいています。売却時の手続きや、お車の引き取りまで、全て安心してお任せください」と坂野代表。

同店では大きな店舗を持たず、地域密着の出張査定に特化することで、抑えた経費を買取金額に還元しているから、他社で査定額が0円と言われた車も最低2万円以上で買い取ってくれる(1600cc以下は5千円以上)。代金は即日現金払いで、名義変更の完了通知書が届くので安心だ。支払い済みの自動車税の還付手続きまで行ってくれる(軽除く)。

ハッピーカーズ 鎌倉店(七里ガ浜オフィス)
☎0467・81・4641
9時〜21時・定休日なし

無料で出張査定に伺います

「救う会」が募金よびかけ

重い心臓病を患う葉山在住の森木花(きか)ちゃん(3歳)に海外での移植手術を!と「きかちゃんを救う会」が発足した。

1歳4カ月の時、おう吐や咳が続く症状を訴えたきかちゃんは「拡張型心筋症」と診断され、脳梗塞や感染症を併発。昨年3月には弱った心臓の血液循環を補助する補助人工心臓を装着したものの、同年11月に心不全が悪化し国内での手術を待つことが厳しい状況に。海外渡航移植の支援団体に相談したところ「救う会」の設立を勧められた。

支援に名乗りをあげたのはきかちゃんの兄が以前通っていた町内の幼稚園の保護者たち。ママ友の絆から生まれた同会が、きかちゃんと家族を支えて募金を開始する。米国コロンビア大学病院での手術に必要な目標額の3億5千万円は医療費の前払金や渡航滞在費、医療用チャーター機の経費など。予断を許さない病状のため、3カ月を目途に目標達成を目指す。葉山町と町社会福祉協議会の後援を得て、7月3日に葉山町立図書館で14時・16時の2回、地元説明会を予定。事前申し込みのオンライン参加も可能。詳細はHP:https://www.think-about-kika.com

メール kikachansmile@gmail.com　(K)

あなたも自費出版しませんか
神奈川新聞社はあなたの本作りをお手伝いします。経験豊かな編集者、デザイナーが相談に乗り、大事な作品を一冊の本に仕上げます。どうぞお気軽にお問い合わせください。◎ご予算に合わせた本作りのご提案もできます。
相談・お見積もりは無料です。
自分史　エッセー　小説　詩集
郷土史　追悼集　写真集　絵本
企業や学校の記念誌
新聞作りのノウハウを生かした企画力、機動力でお応えします。
神奈川新聞社 出版メディア部
お問い合わせは、月〜金曜(平日)の10時から18時
TEL 045-227-0745 FAX 045-227-0785

訪問診療・往診
医)湘南友和会
さとうクリニック
認知症対応　訪問看護
訪問介護　癌末期管理
在宅看取り　緊急時病院連携
〒247-0061 鎌倉市台5-8-29
TEL 0467-43-5220

ゆみ中医漢方クリニック
漢方婦人科
漢方思春期婦人科
漢方不妊治療婦人科
診療時間
完全予約制
午前：9:00〜11:30（火〜土）
住所：逗子市小坪1−18−4
TEL：0467-22-9184
http://www5e.biglobe.ne.jp/~yumicyui/
各種健保扱・自費診療有